

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



ナイフとフォークで
おしゃべりランチ♪

●保育園児が卒園お祝いランチ♪

3月17日、一般財団法人添田福祉会の保育園（たから、くるみ、ひかり、ひこほたる）を卒園する園児18人がひこさんホテル和でランチを楽しみました。5園合同で初めて行われた卒園のお祝いのお食事会。園児たちは、慣れない手つきでナイフとフォークを手にお子様ランチのハンバーグやコロッケをいただきました。

4月から新1年生となる皆さん。卒園、そして入学おめでとうございます。

APR.2015

4

No.642

地域づくり／林業振興／観光施策

地域の特性・資源を生かした
活気のあるまちづくり

上津野地域を「まちづくりモデル地域」として指定し、観光振興を視野に入れた地域づくりアドバイザーを派遣して助言や研修会等を実施するなど更なる発展を後押ししていきます。

林業については、荒廃した森林の再生に向けて県森林環境税を活用し、引き続き整備を進めることとしています。未利用資源の有効利用のため、木質バイオマス利用等の可能性についての研究も進めていきます。観光事業では、多様化する観光客のニーズ等を把握するため、観光客動向調査を実施し、効果的な観光客誘致を推進するとともに、イベント等を実施することで、町内の活性化を図ります。

環境保全／防災減災／住宅整備

美しい自然環境を守り育て、
快適な暮らしのあるまちづくり

水質汚濁防止対策としては、新たに策定した生活排水処理基本計画に基づき、個人設置型合併処理浄化槽の普及を積極的に推進し、生活排水処理率の早期向上に努めます。

防災・減災については、住民の自発的な防災活動を促進するため、自主防災組織や災害時要援護者の避難支援など組織の設立、支援体制の確立に向けた地域防災力の強化を図ります。また、災害時の停電に備え、太陽光発電設備などをオークホールに整備します。町営住宅の整備については、朝日ヶ丘団地の建替え事業に着手します。



高齢者福祉／障がい者福祉

健やかで生き生きとした
安心のまちづくり

健康でいきいきと暮らし、地域の絆により安心感を持って自立した生活が出来るよう、医療、介護、予防、住まい、並びに見守り等の生活支援サービスなどが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築に努めます。現在、65歳以上の高齢者の約4人に1人が認知症高齢者やその予備軍と見込まれる現状を踏まえ、認知症予防の取り組みを推進します。

障がい者支援については、窓口での相談や手続きで、聴覚や音声・言語に障がいのある人とのコミュニケーションを図るため、手話通訳者を臨時的に配置し、窓口担当者や障がい者の会話や意思伝達の円滑化に努めます。



道路整備／橋梁整備

住みよさが感じられる生活基盤が
整備されたまちづくり

道路整備は、車輛通行に重点を置いてきた道路から、利用者の安全確保や快適化に重点を置いた、バランスのとれた道路へと転換することが重要となっています。そのため、道路の役割や地域の実情を考慮し、計画から町民の皆さんと協働による道路整備を行います。橋梁は、高度成長期に集中して整備されたため、老朽化対策が必要になると予想されます。厳しい財政状況下において、補修や改良を円滑に対応していくため、橋梁長寿命化計画等の計画に沿って予防安全、老朽化対策に取り組めます。

教育制度改革

豊かな心と生きる力が育まれ、
文化が躍動するまちづくり

教育行政については、4月から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されました。これにより教育長は議会の同意を得たうえで直接任命され、委員長職は廃止、教育長が教育委員会の代表となります。また総合教育会議を設置し、教育に関する大綱を策定することとなっております。このことにより町としての教育政策に関する方向性を明確化するものです。本町教育政策をまちづくりの重要施策と位置付けるとともに、今後は教育委員各位と連携しながら施策の推進に努めていきます。



住民参画／マイナンバー制度

連携と協働による
自立のまちづくり

町政刷新まちづくり会議では、本町の主要な施策に対する意見や町の方角性を示す計画の策定段階でさまざまなご意見をいただいております。今後も連携と協働により町の振興や発展を図るため、町民の皆さんの参画をお願いしたいと思っております。

マイナンバー制度では、10月から順次番号の付番・通知が開始され、平成28年1月から社会保障分野や税分野で順次運用が開始されます。今後は、この制度を広く住民のみなさんに知っていただき適正な運用と利便性の向上を図っていきます。



寺西明男町長が3月議会で示した今年度のまちづくりの骨子



施政方針

総合計画に基づく3つの重点行動プロジェクトと6つの施策

はじめに

国は、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環に向け、地方に対して「地方人口ビジョン」ならびに「地方版総合戦略」の策定を求めている。町も住民の皆さんと共に取り組んでいきます。

町では「豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち」を目指し、平成27年度からの添田町第5次総合計画の後期5か年基本計画を策定しました。この計画で緊急かつ重点的に取り組む施策を重点行動プロジェクトとして掲げ、当年度予算のみならず実施計画、国の地方創生においても、実効性の確保を図ります。



定住促進

重点行動プロジェクト①

若者が安心して子供を生み、育てるための環境を整備し、地域の一員として、地域社会を支えてもらいます。まずは、若者世帯の経済的負担を軽減するために定住を目的とした6戸の安価な戸建ての賃貸住宅を梶田分譲用地に建設します。また、空き家活用に向けた新たな制度の構築や空き家情報の発信を強化します。

4月から乳幼児医療の対象を中学校3年生まで拡充し、「乳幼児・子ども医療」に名称を変えて、一部負担や所得制限を無くして完全無料化を実施します。また、添田町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てしながら安心して働き続けることができる支援策を総合的に推進していきます。

若者の定住を推進するため、光ファイバーケーブルを活用した快適なインターネット環境の整備や住民の利便性向上に努めています。また、広報紙やソーシャルメディアを活用し、添田町の魅力を総合的に発信していきたいと考えます。

農業振興

重点行動プロジェクト②

農業振興は、農家と農地を守る施策とともに農業が自立・安定した経営ができるよう積極果敢に施策を展開する必要があります。そのため、安心で安全な農作物を安定して供給できるように効果的な支援を図るとともに販路開拓に努めます。4月から1名が独立した就農実践塾では、地元農家や地域の指導・協力で、農業だけでなくコミュニティーにも受け入れられています。今後も確実な農業経営ができるよう関係機関と連携を図りながら支援を行います。また、将来の就農を見据えた中で、新たに短期農業体験を女性限定で行うことを計画しています。

地域ブランド開発は、農産物の6次産業化を目指し、生産、加工、流通、販売のシステム構築を進め、都市圏へ向けた積極的な広報活動や商談会への参加など、販売数の増や販路拡大に努め、地域活性化につなげていきます。また、新聞やテレビなどに取り上げられるような話題づくりのため、魅力ある商品づくりや食のイベントを企画し、添田ブランドとして知名度の向上に努めていきます。



歴史まちづくり

重点行動プロジェクト③



昨年6月、添田町歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けました。今後は、この計画に基づき、英彦山と添田本町等の2つの重点区域を中心に、歴史と文化のまちづくりを推進し、地域の活性化に取り組んでいきます。

添田本町等重点区域では、国指定重要文化財中島家住宅の公開活用に向けた保存修理事業に着手します。英彦山重点区域では、英彦山門前町回遊ネットワークの形成を図り、参道や宿坊、庭園等の修復や修験道館の機能の充実、スロープカー駅舎など観光施設の修景整備を一体的に取り組むための整備方針から基本設計に至る英彦山整備構想を策定します。

歴史文化遺産の伝承や活動の担い手育成には、幼いころから町の歴史・文化に触れ、学習することが重要です。町内小学校と協力しながら授業で取り組めるよう添田町歴史テキストの作成や学芸員等の派遣事業を実施します。

平成27年度 予算



町の平成27年度の一般会計予算は、昨年度に比べて2076万円減額の67億4661万円、特別会計予算は、1億4658万円増額の20億7390万円、予算総額88億2051万円となりました。

歳入 町税をはじめ、使用料・手数料などによる自主財源が

全体の26・8%、国や県に頼った依存財源が73・2%と本年度も財源の多くを依存財源が占める依然として厳しい財政運営状況です。

町税収入では、法人税で景気回復による増収の兆しはみられるものの、労働人口の減少による町民税の減や固定資産税での評価替えなどによる減収を反映して、昨年度に比べ1716万円の減額となっておりです。

自主財源の乏しい本町では税収をはじめとする町債権の確保は絶対的な課題です。そのため、「滞納は許さない」のスローガンを今後も強く掲げ自主財源の確保に努めます。

特別会計		20億7390万円
前年度に比べて1億4,658万円の増額(+7.6%)		
国民健康保険事業勘定特別会計では、高齢化や医療の高度化などで医療費が増加しています。その中で、税収確保に取り組む、補助金なども活用し、財政運営に努めています。平成25年度は赤字決算、26年度も非常に厳しい財政状況です。		
特別会計名	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業勘定	16億4,830万円	+ 9.3%
後期高齢者医療	1億8,705万円	+ 2.8%
住宅新築資金等貸付事業	178万円	▲ 3.4%
バス事業	3,133万円	+ 3.9%
水道事業	2億 544万円	+ 0.2%

総額88億2,051万円の まちづくりスタート

寺西町長が特に重点を置く「活気あるまちづくり」「安心・安全のまちづくり」「歴史と文化のまちづくり」を中心に、一般会計の67億4,661万円と特別会計の20億7,390万円を合わせると平成27年度の予算総額は、88億2,051万円となりました。

平成27年度 一般会計歳入予算総額		67億4661万円	(前年度比▲0.3%)
依存財源73・2%			
地方交付税	30億8,901万円	45.8%	
国庫支出金	5億9,167万円	8.7%	
県支出金	4億9,274万円	7.3%	
その他	1億7,421万円	2.6%	
町債	5億9,176万円	8.8%	
自主財源26・8%			
町税	6億1,827万円	9.2%	
諸収入	1億3,009万円	1.9%	
使用料・手数料	1億6,136万円	2.4%	
分担金・負担金	6,836万円	1.0%	
その他	8億2,914万円	12.3%	

用語の説明

【歳入】

▼町税：町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など、皆さんに納めていただく税金。

▼地方交付税：市町村が等しく事務ができるよう、一定の基準により国から交付される税金。

▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。

▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。

▼町債：町の借入金で償還が2年以上にわたるもの。

【歳出】

▼議会費：議会運営の経費。

▼総務費：行政全般の事務などに関する経費。

▼民生費：障害者や高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費。

▼衛生費：環境保全や健康づくりの支援などの経費。

▼農林業費：農業や林業の振興のための経費。

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費。

▼土木費：道路や河川の整備、町営住宅建設などの経費。

▼消防費：消防活動や災害対策などの経費。

▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどの経費。

▼公債費：過去の町債を返還するための経費。

歳出

町の今年度の主な事業としては、人口減少に歯止めをかけるため「若者定住促進事業」として、梶田定住用地に戸建ての木造住宅を建設します。歴史と文化のまちづくりでは、まちづくり、観光、地域が一体となった「英彦山整備構想および基本計画」を策定。また、国指定重要文化財である中島家の保存修復のための設計などを行います。

減少する歳入を有効活用するためにも事業計画をしっかりとして、より効率的で効果的な行政運営を進めながら、豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまちづくりを行います。

今年度の主な事業

若者定住促進事業や歴史まちづくり事業など



若者定住促進住宅事業

(総務費) 1億1,298万円

人口減少に歯止めをかけるため、町が整備した梶田定住用地に若者世帯専用住宅6戸を建設する。

歴史的風致推進事業

(土木費) 3,342万円

まちづくり、観光、地域がひとつとなった英彦山構想と基本計画策定や岩石山ガイドマップ作成など。



ふれあいの館そえだジョイ施設設備改修事業

(民生費) 2,675万円

そえだジョイの老朽化した空調やエレベーター、消防設備の改修工事を行う。

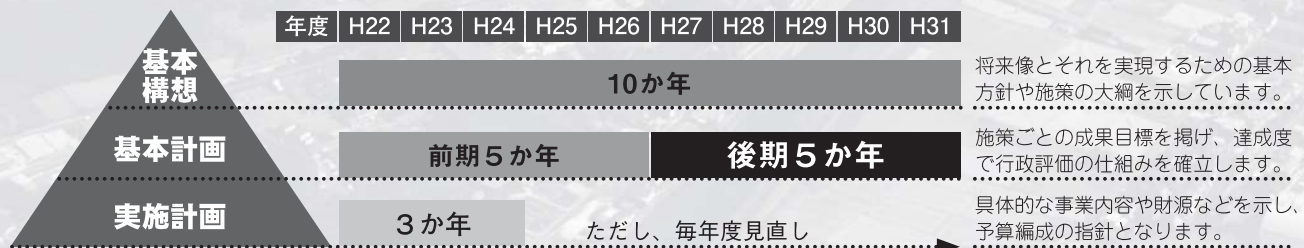
その他にも、都市との交流や伝統行事などを取り組む地区にまちづくりの専門家を派遣する地域づくりアドバイザー事業や役場窓口到手話通訳者を臨時的に配置する地域生活支援事業などを行います。

総合計画とは

総合計画は町政運営における最上位計画となるものであり、今後のまちづくりにおいての指針となるものです。計画は、基本構想と基本計画、実施計画からなる構成とし、計画の期間は平成22年度から平成31年度までの10年間となっています。今回、後期5か年の基本計画を策定しました。

●計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層構造で構成されています。



重点行動プロジェクト

3 歴史まちづくりプロジェクト

町には、多くの伝統的活動や歴史的建造物が多く残されていますが、それらの継承や適切な維持管理・活用が課題となっています。町内に残る重要歴史建造物や、修験道などに関する伝統文化を保存し、活用したまちづくりの推進を図るため「添田町歴史的風致維持向上計画」を策定し、認定を受けました。今後は、英彦山を核とした町固有の歴史および伝統を反映した人々の活動や、その活動が行なわれる歴史上価値の高い建造物、その周辺地域の景観等を維持・整備していくとともに、それらを活用した観光振興を図ります。



実現に向けた主な取り組み

歴史文化遺産の継承と活用

- 添田町歴史的風致維持向上計画の推進
- 伝統的活動、歴史的建造物の把握調査
- 重要な文化財の指定・登録
- 歴史文化遺産に関するイベントや学習会の開催
- 文化財等の適切な保全・活用推進
- 英彦山に点在する遺跡の史跡指定検討
- 公共サインやパンフレットなど情報媒体の製作・周知など

観光の振興

- 観光ガイドボランティアの育成
- 観光ニーズ、観光客の流動、消費実態等の現状調査
- 体験型ツアーやイベントといった観光商品開発など

自然環境の保全

- 国定公園英彦山の自然環境の保全
- 登山道及び誘導看板の整備

重点行動プロジェクト推進のための3つの視点

3つの重点行動プロジェクトの推進にあたっては、次の3つの視点に基づき、推進していきます。

プロジェクト間の相乗効果を発揮すべく、全庁的に推進 視点①

3つの重点行動プロジェクトは、互いに重なる分野があり、相乗効果が期待されます。町の目指すべき将来像の実現に向け、プロジェクト間の情報共有を徹底し、全庁的に取り組みます。

添田町第5次総合計画の基本理念である「豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち」を実現するため、3つの重点行動プロジェクトとその推進のための3つの視点を掲げました。総合計画について詳しくは、役場まちづくり課（☎ 82-5965）まで問い合わせください。

重要業績評価指標の設定と、定期的な進捗確認 視点②

プロジェクトの対象者像を絞り込み、定住意向や町の認知度、来訪意向等の調査を行います。この現状値をふまえ、事業毎の成果指標を設定し、達成度の確認や業務改善を行います。

効果的・効率的なプロモーションの実施 視点③

町のプロモーション強化のため、各プロジェクト対象者の特徴や属性などを分析。その上で、プロモーション戦略を構築し、様々な媒体を活用し、少ない行政経営資源の投入で最大限の効果を挙げます。

●添田町第5次総合計画後期基本計画(平成27年度～31年度)を策定しました

まちづくりの方向性を示した添田町第5次総合計画は、添田町の将来像とそれを実現するための大切な行政計画です。今回、アンケート調査や町政刷新まちづくり会議などで住民の意見を聞いて皆さんと策定した後期基本計画では、重点行動プロジェクトとして、「定住促進」「農業振興」「歴史まちづくり」の3つのテーマに取り組みます。

「豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち」

将来像を実現する3つのテーマ

重点行動プロジェクト

重点行動プロジェクト

1 定住促進プロジェクト

国勢調査によると、平成22年の本町の人口は10,913人と、40年間で約6,000人減少し、同時に高齢化が進展しています。国立社会保障・人口問題研究所は、この傾向が続くと2040年には人口が6,400人、高齢化率は4割を超えると推測しており、人口減少、少子高齢化対策は重要かつ喫緊の課題となっています。

今後は、地域の将来を担う若者や、子育て世代をはじめとした多世代の定住を促進するとともに、町外への人口流出を防ぐ施策を重点的に展開していきます。



実現に向けた主な取り組み

定住・住宅対策の充実

- 若者向け定住促進住宅整備
- 空き家活用事業
- 町営住宅の改善・建替の推進など

子育て支援・児童福祉・ひとり親福祉の充実

- 添田町出産育児奨励金
- 中学生以下の乳幼児・子どもへの医療費の完全無料化
- 子ども・子育て支援計画の推進など

学校教育の充実

- 基礎基本を定着させる義務教育課程や土曜日の教育活動の充実等による学力向上
- 夢や希望を持てるそえだの子どもの育成（そえだドリームプロジェクト）など

町民参画による協働のまちづくり

- 住民主体のまちづくり活動の支援
- 広報紙やホームページ、動画配信等の多様なツールを活用した情報提供など

重点行動プロジェクト

2 農業促進プロジェクト

中山間地域で育まれた農作物や、その加工品は本町の大きな魅力であり、農業は本町の主要な産業となっています。しかしながら農業は、農家の高齢化や耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害の拡大など様々な課題を抱えています。

変化する消費者ニーズ、自由貿易協定、農業関連改革などの動向に対応しながら、本町の農業の強みを活かした戦略的な農業振興を図ります。

実現に向けた主な取り組み

農業の振興

- 農業生産基盤の維持・管理促進
- 就農実践塾の推進
- 女性・若者・高齢者など、農業の多様な担い手の育成など

特産物の開発・ブランド化の推進

- 特産物の販路開拓・拡大のための各種商談会や展示会への参加支援
- 地産地消の新規特産品開発など

商工業の振興

- 地域商品券の発行、買い物弱者支援などの地元購買力の増強
- 英彦山や歓遊舎を核とした消費者の誘導
- 都市近郊への販路拡大など

獣害対策の推進

- 捕獲による対策強化および捕獲者の育成
- 捕獲野生獣の食肉利用推進
- 有害鳥獣侵入防止柵の設置など



● 平成26年度に交付決定した団体を紹介

町を元気にする アイデアがいっぱいです

平成26年度は、6つの団体が交付決定を受け、町を元気にする事業を実施しました。その6団体の事業の内容をご紹介します。

●NPO法人アートもん 添田deキャンドルナイト

8月23日、そえだサン・スポーツランドで添田deキャンドルナイトを開催。暗闇の中、約3,000個のキャンドルの優しい光が揺れていました。また、児童館でのワークショップや地域ボランティアの皆さんも参加しました。



●中元寺っ子まつり実行委員会 中元寺っ子まつり

7月26日、夏休みを迎える中元寺校区の子どもたちが健康で元気に過ごせるよう営火祭を開催しました。子どもたちは、友人や地域の皆さんと楽しく交流する中で、郷土を愛する心を育み、楽しいひとときを過ごしていました。



●油木ダムを美しくする会 油木ダム憩いの森整備事業

油木ダム周辺の環境整備や緑の森づくり、公園美化など油木ダムを中心とした自然環境の保護活動を実施。ダム周辺に河津桜の植樹を行い、英彦山へ向かう観光客に対し「憩いの場」を提供し、津野地域の活性化を図っています。



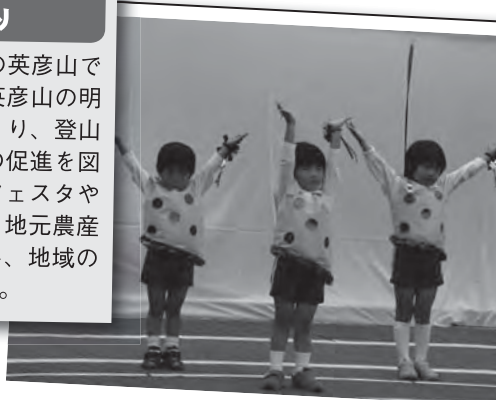
●津野地域活性化実行委員会 油木ダム桜ウォーキング大会

過疎化・高齢化が進む津野地域全体で、地域で結成した実行委員会が主体となり、油木ダム周辺でウォーキングや物産販売などのイベントを実施。津野の良さをPRし、多くの人が津野へ来てもらえるよう、地域活性化を図ります。



●添田町活性化推進協議会 ひこさん紅葉まつり

秋の行楽シーズンの英彦山でイベントを開催。英彦山の明るいイメージをつくり、登山客や観光客の増員の促進を図るため、クラフトフェスタやステージイベント、地元農産物等の即売を実施し、地域の活性化を図りました。



●上津野村づくり推進協議会 上津野観光振興事業

『上津野史跡マップ』の作成や耕作放棄地対策として、地域の休耕田や道沿いに杏を植栽し、『杏の郷』の実現に向けた整備を実施。また「自然にふれようイン津野収穫祭」の看板を作成し、PR活動に取り組んでいます。



まちづくりを頑張ってる皆さん！

私たちと一緒に 町をもっと元気に しませんか!?

●添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金

30万円が
上限です

一緒に頑張る
まちづくり



地域の課題解決や地域資源を活用したまちづくり活動を行う団体に対して、上限30万円を交付し、支援する「添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金」。平成24年度に始まり、町内各地でまちづくり活動が行われています。皆さんのアイデアで添田町を元気にしませんか。今年度も、頑張っている皆さんの応募を受け付けてます。

☎ 役場まちづくり課施策推進係 (☎ 82-5965)

町を元気にする まちづくり団体を支援

町では、豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまちづくりを推進するため、地域の課題解決や地域資源を活用したまちづくり活動を行っている団体に「添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金」を交付し、応援しています。

交付の対象となるのは、「添田町をもっと元気な町にしたい」。そんな夢を持って、まちづくりに取り組む団体です。このような活動を行う団体は、町にとって大切な財産であるとともに、その活動に大きな期待を寄せています。

まちづくりに頑張る 団体を募集しています

町では、住民自ら主体的に企画、実施する個性的で魅力あるまちづくり活動を行う団体を募集します。

▼応募できる団体 町民主体のまちづくり団体で、次の要件を満たす団体です。

▼活動拠点が町内で、責任をもって後年にわたり継続的に事業を実施できる団体。

▼5人以上の団体で、代表者および

団体の構成員の過半数が町内に在住または在勤している団体。

▼交付対象となる事業 町内で行われる「協働のまちづくり」を推進するために、団体が自由な発想で自ら主体となつて行う事業です。

▼応募期間 平成27年4月15日(金)5月29日(金)

※昨年度までは随時受け付けていましたが、今年度から期間を定めて募集します。

▼交付金額 予算の範囲内で対象経費の10分の10で、上限30万円。

▼申請の方法 添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金交付申請書(事業計画書・収支予算書)と事業実施団体の概要がわかる資料などをまちづくり課に提出してください。

※申請書は、まちづくり課で配布しています。また町ホームページからもダウンロードできます。

▼審査・選考 提出された申請書類の審査を行い、交付の可否を決定し、通知します。

※交付の団体や事業内容には条件があり、対象とならない場合もあります。詳しくは、まちづくり課施策推進係(☎ 82-5965)まで問い合わせください。

ご理解ご協力をお願いします

町の国民健康保険事業の財政は、非常に厳しい状況です。このため平成27年度添田町国民健康保険税の税率を次のとおり改正する条例が3月議会で可決されました。加入者の皆さんには、お互いを支え合う国民健康保険制度の趣旨をご理解いただき、運営の健全化にご協力をお願いいたします。



国民健康保険税の引き上げに、ご理解をお願いします

☎ 役場住民課税務係 (☎ 82-1234) 保険年金係 (☎ 82-5966)

区分	医療保険分		後期高齢者支援分		介護保険分	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割	7.0%	8.0%	2.0%	2.0%	1.0%	改正なし
資産割	30.0%	20.0%	5.0%	3.0%	2.0%	
均等割	16,000円	18,000円	4,000円	5,000円	6,000円	
平等割	18,000円	20,000円	5,000円	6,000円	4,000円	

※今回の改正に伴う新しい税額の試算例など詳細は今後お知らせします。また、平成27年度の納付書は7月上旬に発送します。

農地を有効活用しませんか

農地の出し手、受け手を募集します

農地中間管理機構（公益財団法人福岡県農業振興推進機構）を通じて、農地の貸借を行いませんか。農地中間管理機構は、農地を貸したい出し手から、規模拡大などを行いたい受け手（担い手）への農地の集積・集約化を進めるため、農地の中間的受け皿となる組織です。

農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けると、経営転換協力金の対象となる場合があります。受け手は契約を一本化できるメリットがあり、また、機構は公的機関なので安心です。



◎ 27年度1回目の募集を行います

【農地の受け手】

▶ 募集期間 5月1日☎～6月1日☎

【農地の出し手】

▶ 募集期限 6月1日☎まで

【機構を通じた農地の権利設定】

▶ 設定期日 11月1日☎

※11月1日の権利設定を希望する場合は、6月1日締切

※申し込み方法や協力金の交付要件など、詳しくは問い合わせください。

☎ 公益財団法人福岡県農業振興推進機構

(☎ 092-716-8355)

福岡県水田農業振興課 (☎ 092-643-3474)

役場地域産業推進課農業振興係 (☎ 82-1237)

割引制度がお得です

国民年金保険料額が15,590円に変わります

平成27年度の国民年金保険料額は、月額15,590円になります。支払い方法によってお得な割引制度がありますので、ご利用ください。

①口座振替 早割

当月保険料を当月末に引き落とす早割制度（納付期限よりも1か月早く振替する制度）を利用すると毎月50円（年間600円）割引となります。

②前納割引（保険料の前払い）

現金で保険料を1年度分前納した場合、毎月払いと比べて3,320円の割引、6か月分前納で760円の割引になります。また、口座振替制度を利用すると、2年度分前納で15,360円、1年度分前納で3,920円、6か月分前納で1,060円の割引となり、大変お得です。

◎学生納付特例制度

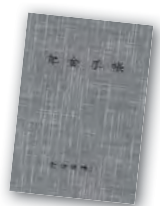
20歳以上の人は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額（118万円＋〔扶養親族等の数×38万円〕）以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例」があります。

平成26年度に保険料を猶予されている人で、平成27年度も引き続き在学予定の人は、3月下旬に送付されたハガキで手続きができます。

なお、平成27年度は学生特例制度を利用せず、保険料の納付を希望する場合は、納付書を送付しますので、直方年金事務所にご連絡ください。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

直方年金事務所 (☎ 0949-22-0891)



詳しくは問い合わせください

☎ コールセンター (☎ 0570-20-0178)

社会保障・税番号制度に関するホームページ

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>



▶▶ 運用開始までの流れ ▶▶

▶▶ 10月 「通知カード」郵送

10月から皆さんのマイナンバー（12桁）を記載した「通知カード」を住民票の住所に郵送します。漏えいして、不正にマイナンバーを収集・利用されるおそれがある場合を除き、マイナンバーは生涯変更されません。

▶▶ 平成28年1月 マイナンバー利用開始・個人番号カード交付

平成28年1月から希望者に「個人番号カード」の交付を開始します。個人番号カードは、写真付きの本人確認書類、e-Taxなどの各種サービスに利用できる予定です。

個人番号カードには、本人の「マイナンバー」、「氏名」、「住所」、「生年月日」、「性別」、「顔写真」などが記録され、所得情報などプライバシー性の高い個人情報は記録されません。

◎住民基本台帳カードは交付終了

平成28年1月以降、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に基づき、個人番号カードの交付が開始されるため、住民基本台帳カード（住基カード）は、12月22日にすべての交付手続きが終了となる予定です。住基カードは有効期限日まで引き続き利用できますが、平成28年1月以降、個人番号カードを取得したい場合は、住基カードの返納が必要です。

▷ 正確な住所の登録が必要です

10月から通知されるマイナンバーは住民票の住所に通知されます。入学・就職・転勤等で住所を異動する人は住所変更の届出を行ってください。



◎公平・公正な社会の実現、利便性向上のために

マイナンバー 社会保障・税番号制度

国民一人ひとりが12桁の個人番号を持つマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）。複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）です。



① 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）とは

平成27年10月から、住民票を有するすべての人に12桁の番号が付番され、法人には13桁の「法人番号」が付番されます。この制度は、社会保障と税の各制度における効率性や透明性を高め、給付や負担の公平性、国民の利便性の向上を図ることを目的とした制度です。



② マイナンバー制度のメリットは何ですか

- ①申請者が窓口で提出する書類が簡素化されます。
- ②「所得」や「行政サービスの受給状況」などが正確に把握しやすくなるため、本当に困っている人にきめ細やかな支援を行うことができます。また、不当に負担を免れることや不正受給を防止します。
- ③社会保障・税・災害対策に関する分野で情報連携が円滑になります。



③ 個人番号（マイナンバー）はどんなときに使うの

平成28年1月から年金の資格取得や確認・給付、福祉分野の給付、生活保護、税務当局に提出する確定申告書、被災者生活再建支援金の支給、被災者台帳の作成事務など、社会保障・税・災害対策において、法令で定められた行政手続に利用できます。また、税の申告書や健康保険の加入届などにマイナンバーの記載が必要となります。



④ 個人情報対策はどうなっていますか

マイナンバーは、社会保障・税・災害対策の手続で行政機関などに提供する場合を除き、他人に提供することはできません。他人のマイナンバーを不正に入手することは、処罰の対象となります。

また、町がマイナンバーを含む個人情報を保有、利用する際には、取り扱い情報の対象人数などに応じて、個人のプライバシーなどへの影響やリスクを予測・分析し、そのようなリスクを軽減するための措置（特定個人情報保護評価）を実施します。



英彦山でたくさんのことを学んだよ

英彦山子てんぐ塾閉講式

落合小学校 4 年生～6 年生 14 人が、英彦山の歴史や文化を学び、観光ガイドや清掃登山などに挑戦した英彦山こてんぐ塾の閉講式が 3 月 7 日、旧英彦中学校で行われました。この日は、今まで自分たちが学習してきた英彦山のことを元気よく発表。最後に野北浩之実行委員長から塾生全員に修了証書が手渡されました。



↑今まで学習してきた成果を最後に発表しました

大学生のアイデアで町を活性化

添田町 ICT オープンスクール成果発表会

ICT (情報通信技術) 使った地域活性化策を大学生が提案するオープンスクールの成果発表会が 3 月 2 日、役場で行われました。近畿大産業理工学部と九州工業大学の学生 12 人が、3 つのグループに分かれて、3 か月間、観光や少子高齢化などの課題解決のため、まちづくり案を研究してきた成果を発表しました。



↑大学生が地域活性化をテーマに研究成果を発表

澤田さん、高柳さんが自衛隊入隊

自衛隊入隊者が表敬訪問

3 月 17 日、平成 27 年度自衛隊入隊予定の澤田雅史さん (伊原・陸上自衛隊) と高柳公汰さん (杣田・航空自衛隊) が役場を訪れ、寺西町長に入隊を報告しました。「一人前の自衛官になれるよう、一生懸命努力します」と入隊への抱負を述べた 2 人。町長は「自分自身や家族、国のためにがんばってほしい」と激励しました。



↑入隊する高柳公汰さん②と澤田雅史さん④

それぞれの思いを桜に込めて

油木ダム桜の木オーナー植樹祭

3 月 15 日、油木ダムを美しくする会 (金子鳴身会長) による桜の木オーナー植樹祭がダム周辺で行われ、20 組が河津桜を植樹しました。名前と一緒に生誕記念など、思いが込められた木札を桜に取り付けた参加者たち。作業後の交流会では、弁当やし汁などが振る舞われ、地元の皆さんと楽しく交流していました。

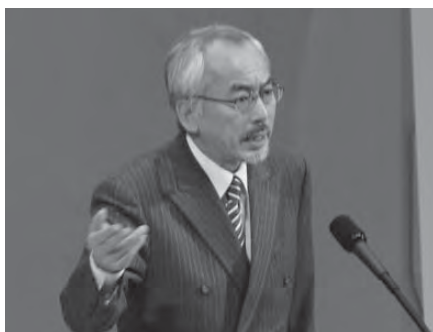


↑毎年、春にはきれいな花を咲かせることでしょう

人は、誰かを笑顔にするため生きる

添田町教育講演会「夜回り先生いのちの授業」

オークホールで 2 月 28 日、夜回り先生、水谷修さんを講師に、教育講演会が行われました。「悪いことをしよう、人を傷つけてやろうと思って生まれてくる子どもなんて一人もいない。まわりの大人がしっかりとしていれば、子どもは非行に走ったりしない」と強く語り、会場に訪れた多くの人は、真剣に耳を傾けていました。



↑「いのちの糸を途切れさせないで」と語る水谷さん

七段位に田川修武会木森さんが合格

全日本空手道連盟昇段審査会

11 月 23 日に東京で開催された全日本空手道連盟昇段審査会で、田川修武会の木森光彦さん (野田) が七段位に合格しました。福岡県から七段位の合格者が出たのは、同じ修武会顧問の新野豊文さん (野田) 以来 7 年ぶりの快挙。今回の審査会で七段位に合格したのは 25 人中 5 人という狭き門でした。3 月 1 日には祝賀会も行われ、昇段が祝われました。



↑七段位に合格した木森光彦さん

↓これからも引き続き、教育のため図書の寄贈などを行う予定だという佐藤さん④



読書で町の教育の振興と発展を

図書寄贈、佐藤知也さんに感謝状

3 月 17 日、町の教育振興発展のため、町立添田小学校と添田中学校、町立図書館に本などを寄贈したとして、本町出身の佐藤知也さん (春日市) に感謝状が贈られました。所蔵図書や児童用図書など合わせて 289 冊で、本棚なども寄贈されました。佐藤さんは、添田尋常小学校を卒業後、就職が厳しい時代に添田小学校の給士として任用された恩返しとして、教育振興発展の目的で寄付を行ったとのこと。寺西町長が「今、若い人の活字離れが進んでいると言われている。子どもたちが本を手取るきっかけになると思う」と、感謝の言葉を述べると、佐藤さんは「子どもたちにとって、環境はとても重要なもの。まず環境を整えていくことが、教育が発展するため必要になる」と話していました。

大家族で農業を、夢を胸に卒業

添田町就農実践塾第 1 期生卒業式

3 月 4 日、町の農業の担い手確保・育成を図る目的で平成 24 年度に開講した「添田町就農実践塾」の第 1 期生、市野光紀さんが、3 年間の研修を終え、実践塾を卒業しました。卒業式には、添田町就農支援推進協議会 (上田定会長) や受入農家の皆さん、実践塾の後輩などが出席。上田会長から激励の言葉が送られ、卒業証書が手渡されました。市野さんは、思い出のスライドショーとともに塾生生活を振り返り「この 3 年間はとても短かった。将来は大家族で農家をするのが夢です。大変なこともあります。それ以上に、こんなにも農業が楽しいことだと教えてくださった皆さんに感謝しています」と感謝の言葉を述べ、若い農業者の先駆けとして、決意新たに就農への一歩を踏み出しました。

↓3 年間の研修期間を終了し、上田会長④から卒業証書を受け取る市野さん②



↓雨の中、ベルトコンベヤーを使つての土のう積み技術を競い合う消防団員たち



災害本番に備え土のう積み技術競う

添田町消防団分団対抗水防訓練

春の火災予防運動期間中の 3 月 1 日、添田公園駐車場で添田町消防団分団対抗水防訓練が行われ、災害時の河川の氾濫や堤防の決壊に備え、敏速で正確な土のう積み技術を各分団で競いました。この日の訓練は、あいにくの雨となりましたが、額に汗を流しながら各分団で土のうを 30 袋作成し、ベルトコンベヤーを活用して、土のう積み場まで運び、懸命に積み上げ作業を行った選手たち。チームワークと積み上げ技術などを採点した結果、第 6 分団が見事優勝に輝きました。

最近、道路脇の枯草などを焼く、不審火が多発していることから、添田町消防団では、巡回を行うなど警戒を強めています。空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。火の元には十分、注意してください。

4月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY



ありさ
大森 有紗ちゃん
4月20日生 ①・峰地

笑顔が可愛いあーちゃん。
思いやりのある優しい子に育っ
てね。



あもる
平山 愛盛ちゃん
4月10日生 ①・岩瀬

いつも笑顔のあもちゃん、お誕
生日おめでとう♡たくさん食べ
て、元気に育ってね。



そうた
宮坂 颯太ちゃん
4月30日生 ③・真木

泣き虫そうた♡強い男になるん
だ！！



みゆ
西田 美結ちゃん
4月5日生 ③・町三

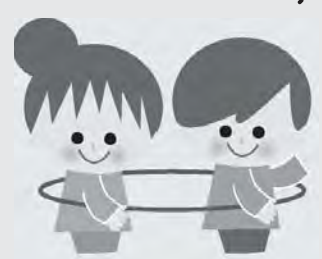
お誕生日、おめでとう！！これ
からも、明るく・元気に育っ
てね！



くるみ
畠田 くるみちゃん
4月1日生 ①・豊川

お誕生日おめでとう。お兄ちゃん、
お姉ちゃんと仲良く、元気いっ
ぱい大きくなってね。

3歳までの
お子さん募集！



お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集していま
す。写真とメッセージを添えて、情報広報
課(☎88-8444)に持参、またはEメール
(koudojyohou@town.soeda.fukuoka.
jp)で送信ください。

5月生まれの締め切りは4月15日(日)です。



まちかど特派員投稿

地域みんなでゲートボール!!

上中元寺地区組対抗ゲートボール大会

上中元寺公民館からの投稿です



↑各世代から参加した隣組
対抗のゲートボール大会
←初心者には丁寧に指導し
ました

レクリエーションを
通して、地域の相互交
流や健康増進を図るこ
とを目的に3月8日、
中元寺小学校で公民館

行事(重藤暢明館長)として「上中元寺地区組
対抗ゲートボール大会」が行われました。春を
思わせる優しい日差しが降り注いだグラウンド
では、若い人から高齢者まで6チーム約80人が
組対抗でゲームを楽しみました。参加者は「天
気も良く、子どもから高齢者までみんなで楽し
めました」と語っていました。

上中元寺地区では、4月26日(日)に青壮年クラ
ブ主催のヤマメ釣り大会を開催します。皆さん
の参加をお待ちしています。

まちのホットNews

自分で作った自慢のお弁当の味は格別です

中元寺小学校「弁当の日」

3月6日、子どもたちに、食べ物に関心を持ってもらおうと、
中元寺小学校で、自分で作った弁当を持ってきて、みんなで一緒
に食べる弁当の日が行われました。ランチルームに集まった全校
児童50人が、ウサギの顔の形のおにぎりやレタスを巻いたハムな
ど自慢の手作り弁当を披露。元気よく「いただきます」と言った
あと、子どもたちは、1つ1つかみしめて、味付けの具合などを
確認しながら手作りの弁当をおいしそうに味わっていました。



↑朝早く起きて、頑張った自慢のお弁当の味は最高です

町の特産品を使った、新しい一品はいかが

ご当地お寿司が歓遊舎で販売開始



↑歓遊舎ひこさんで販売が開始された添田のご当地お寿司

添田のご当地一品(ゆず)グランプリで優秀作品に選ばれた「大根ヘル
シー巻き」と「柚子巻き」、シイタケを使った「なばなば寿司」の
3種類の寿司が、3月21日から道の駅歓遊舎ひこさんで販売開始
されました。どの商品も町の特産品を使った、まさにご当地の一品。
歓遊舎ひこさんの特設コーナーには、添田町の新しい名物料理を
求めて大勢の買い物客で賑わっていました。歓遊舎ひこさんでは、
ご当地のお寿司を土日限定で販売しています。

添田フリーズ、県内28チームの頂点に立つ

椎加栄カップ学童低学年軟式野球大会

2月14日～28日にかけて、小学校4年生以下を対象とした軟式
野球大会「椎加栄カップ学童低学年軟式野球大会」が福智町赤池
グラウンドで行われ、県内から参加した28チームが熱戦を繰り広
げました。添田フリーズは順調に勝ち進み、28日に迎えた決勝では、
伊田レッドスターと対戦。結果は6対0で添田フリーズが快勝し、
見事頂点に輝きました。毎週火・木17時からサン・スポーツランド
で練習しているので、興味のある小学生は見学に来てください。



↑見事優勝を果たし、優勝カップを手にした添田フリーズ

文芸歳時記

【川柳 添田番傘川柳会】

沈黙が怖いセクハラ常習者

農協の株ジョニ黒お伴する

満員車の傘しずくがきにかかり

行く末を覗く眼鏡が見付からぬ

ライバルの名が栄転の社内報

▼2月号の訂正

石垣は孕むに任す坊の跡

【俳句 添田福寿句会】

春なれや大きな月の潤む宵

山峡の入は輝き日脚伸ぶ

綱敷宮詣で至福の梅日和

意のまゝに生きて米寿や草萌る

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

下萌ゆる挫折のあとの文庫本

秘めし恋降るとも見えじ春の雨

生涯を無名のままに寒鰯釣る

むしろ旗ふる人も無し建国日

通夜の村ずんと鎮もる寒昂

雪が降る夜は無言の太柱

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

師の一世クオリティ・オブ・ライフとぞ

往生浄土のみちに逝きます 大塚 成子

岩石山にこぶしの花の見ゆる時

訪なふ門は閉ざされしまま 五十嵐田鶴

春の日の道辺に一群たんぽぽの

黄の色目立つ陽だまりなれば 平井 朝子

●俳句・川柳を募集します

5月号に掲載する俳句・川柳を募集します。4月15日(日)

までに役場情報広報課に連絡してください。

図 役場情報広報課(☎88-8444)

試験・募集

福岡県警察官採用試験

- ▼1次試験日 5月10日
- ▼ところ 九州産業大学(福岡市)
- 【警察官A(大卒程度)】Ⅱ男女、武道指導
- ▼受験資格 昭和60年4月2日以降生まれで、大学(短大除く)卒業者または平成28年3月までに卒業見込みの人
- ▼採用予定数 男性Ⅱ116人、女性Ⅱ17人、武道指導Ⅱ3人
- ※武道指導は、柔・剣道の資格条件あり。
- 【警察官B(高卒程度)】Ⅱ男性
- ▼受験資格 昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人
- ※大学(短大除く)卒業者または平成28年3月までに卒業見込みの人、申し込み日現在高校在学中の人は受験できません。
- ※平成27年10月以降の採用となります。
- ▼採用予定数 20人



税・教育

軽自動車税の減免申請をお忘れなく

身体障害などにより軽自動車税の減免措置を申請する人は、必要書類を次の期限までに住民課税務係へ提出してください。なお、障害の区分・級などによつては減免措置を受けられない場合があります。また、普通車の税金を減免されている人は、軽自動車税の減免申請はできません。

▼提出期限 5月25日

国保事業の円滑な運営のために

添田町国民健康保険運営協議会委員を公募します



町では、国民健康保険(以下、国保)の運営に関する重要事項を審議する「国民健康保険運営協議会」を設置しています。今回、その委員のうち住民の立場からの意見や提言を生かし、認識を深めてもらうことを目的に被保険者を代表する委員4人を次のとおり公募します。

- 応募資格 次の①～⑤をすべて満たす人
- ①平成27年4月1日時点で、20歳以上72歳以下の国保の被保険者
- ②納期限の到来している国保税を完納している世帯に属する人
- ③添田町の他の附属機関の委員でない人
- ④添田町の職員または町議会議員でない人
- ⑤過去に同運営協議会委員経験のない人
- 募集人数 4人
- 任期 平成27年6月1日から平成29年5月31日までの2年間
- 活動内容
- ①協議会に出席し、国民健康保険について被保険者の立場から意見や提言を行う
- ②協議会は、年3回程度(各2時間程度)
- ③出席者は、規定による報酬支払いあり
- 募集期限 4月30日
- 応募方法 申込書に必要事項を記入し、持参または郵送で提出(書類審査後、必要に応じて面接あり)
- ※様式は、保険年金係(4番窓口)またはホームページで取得してください。

町 役場住民課保険年金係

【警察官C】Ⅱ経済、語学(英語、

- 北京語、韓国語)、情報工学
- ▼受験資格 ①昭和60年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人 ②平成6年4月2日以降に生まれた人で、大学(短大除く)の卒業者または平成28年3月までに卒業見込みの人
- ▼採用予定数 1～3人
- ※性別は不問ですが、各試験に資格要件あり。
- ▼申込期限 4月20日
- 町 田川警察署
- 国土地調査業務員募集
- ▼業務内容 町内の土地境界に関する調査や現地立会、現地の杭やプレート設置、調査

資料の作成など

- ▼応募資格 ①平成27年4月1日現在18～65歳までの人 ②国土調査業務・土地測量業務の経験がある人 ③要普通自動車免許(AT車限定可)
- ▼募集人数 1人
- ▼勤務時間 月～金曜 8時30分～17時15分
- ▼報酬 月額15万円(社会保険等、交通費別途支給)
- ▼任期 平成28年3月末まで
- ▼申込期限 4月30日
- ※応募方法など、詳しくは問い合わせください。



新行政相談委員に小田宣和さん



↑行政相談委員の小田宣和さん

平成25年から2年間行政相談委員を務めた椎野英樹さん(町二)が退任され、新たに小田宣和さん(伊原)が就任しました。行政相談委員は、身近な相談窓口として、行政サービスや手続きに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関への通知などの仕事をボランティアで行います。任期は平成29年3月31日までです。

町 小田宣和さん

- 町 役場国土調査係
- 平成27年度県政モニター募集
- ▼応募資格 県内在住の18歳以上の。ただし、国・地方公共団体の議員、常勤の公務員、平成25・26年度県政モニター経験者を除く
- ▼任期 平成28年3月末まで
- ▼謝礼 活動状況に応じて図書カードもしくはクオカード
- ▼申込期限 6月1日
- ※詳しくは問い合わせください。
- 町 福岡県県民情報広報課広聴係

▼持ってくるもの

- 平成27年度軽自動車税納税通知書(5月上旬送付予定)、運転免許証、身体障害者手帳など、減免申請書用紙、納税義務者の印鑑
- 町 役場住民課税務係
- 添田町育英資金の申し込み受付中
- 添田町 育英資金の申し込みを受け付けます。
- 詳しくは



お問い合わせください。

- ▼対象者 学校以上の学校に進学する学生
- ▼町内に2年以上在住する人
- ▼品行方正で志操堅実な人
- ▼貸与金額 【奨学金】高等学校・専門学校等Ⅱ月額1万2千円以内、短期大学・大学等Ⅱ月額2万2千円以内
- 【入学支度金】高等学校・専門学校等Ⅱ2万4千円以内、短期大学・大学等Ⅱ6万円以内
- ※他の公私団体の奨学金とは併用できません。
- ▼申込期限 4月30日
- 町 教育委員会学校教育課

4月6日から受付を開始します

野生鳥獣侵入防止用「のり網」をあっせんします

- イ ノシヤやシカの被害防止対策として、「使用済みのり網」の申し込み受付を行います。数に限りがありますので、早めに申し込みをしてください。ただし、申込状況により枚数を制限する場合があります。
- あっせん枚数 500枚(18m×1.8m/枚)
- ※金属製の網ではありません。
- 価格 350円/枚(10枚単位で販売)
- 受付開始日 4月6日
- 受け渡し日 4月20日以降(平日8時45分～17時)
- 受け渡し場所 役場北側公用車駐車場(身障者駐車場奥)



町 役場地域産業推進課有害鳥獣対策係

教育のひろば

町では、平成25年度より保護者と共に「夢や希望を持てるそえだの子ども」を目指すため町内全小中学校、地域、町が連携し取り組みを推進しています。子どもたちに基本的に身につけさせた実践的態度を各年代で示し、さらにその節目での取り組みを行い9年間の義務教育期間を過ごしていくこととしています。また、幼児期においても成長過程で非常に重要な時期であり、保育園や幼稚園における実践や園児の保護者の皆様のご協力をお願いします。

●そえだドリームプロジェクト9年構想

基礎ステージ(保育園幼稚園段階)

早寝早起き朝ごはん

すべての家庭地域で人生の基礎としての位置づけで、基本的な生活習慣を身につけさせる。

1ステージ(小学1年～4年段階)

あいさつ掃除

1/2成人式全小学校で4年生を対象に、今までの振り返り、今後の夢や希望をはぐくむ機会とする。

2ステージ(小学5年～中学1年段階)

耐性勤勉

踏破鍛錬「そえだ立志の道」小学校5年生を対象に、鍛錬体験を通して何事にも粘り強く取り組む姿勢をはぐくむ。

3ステージ(中学2年～3年段階)

立志

立志式中学校2年生を対象に、今後の人生を考える機会とし、町を挙げて応援する場とする。

夢や希望を持てるそえだの子ども
～小・中学校連携教育を通して～

○添田町民会館の環境整備が終了しました

県道の改良工事、旧中央公民館の解体等に伴い町民会館周辺整備を行っていましたが、駐車場(32台)や遊歩道、庭園などの整備が完了しました。長い間ご不便をおかけいたしました。ホールのみでなく会議室等の利用も可能ですので、多くのご利用をお待ちしております。なお、県道の整備は今後実施される予定です。利用申込は、オークホール(82-2559)まで。

町 添田町教育委員会

イベント

シャクナゲまつり

▼とき 4月18日(土)～30日(木)
9時～16時30分
(期間中の土日祝日は花公園内特設テントでイベントあり。また、5月2日(金)～6日(火)までのGW中は花駅駐車場でイベントあり)



▼ところ 英彦山花公園

▼入園料 大人(高校生から)200円、小人(小学生から)100円

▼イベント内容 地元特産品、しゃくなげ苗、ヤマメの塩焼き、しし汁などの販売

園 英彦山花公園(☎85-0375)

上中元寺ヤマメ釣り大会

▼とき 4月26日(日) 6時30分～11時(受付6時～)

※事前予約不要。6時30分以降も随時受付。(表彰式12時～)

▼ところ 上中元寺公民館前、田中組集会所前

▼参加費 一般1千円、小学生以下1500円(おにぎり・だん

ご汁付き)

園 上中元寺青壮年クラブ宮崎(☎090-1875-8295)

中元寺菜の花まつり

▼とき 4月11日(土) 9時30分～13時

▼ところ 観音寺集会所前農機具倉庫

▼内容 ふれあいゲーム、農産物・生活用品の展示即売、福引抽選、餅つき大会・餅まき



※家庭で使っていない生活用品がありましたら、バザーにご協力をお願いします。

園 農事組合法人中元寺営農組合(☎31-4036)

お知らせ

役場に手話通訳を設置

4月から、聴覚障害がある人が役場でさまざまな手続きをする際に、設置手話通訳者が手続きのお手伝いを



用者を題材とした、楽しいイラスト作品

▼サイズ A4版横

▼部門 ①未就学児の部②児童・生徒の部(小中学生)③一般の部(高校生以上)

▼申込期限 6月12日(金)必着

園 福岡県交通政策課(☎092-643-3166)

看護の日のついで

▼とき 5月16日(土) 10時～15時

▼ところ JR博多駅

▼内容 血圧測定、骨密度測定、介護相談、健康相談、女性のからだの相談、看護への進路相談、キッズ白衣体験など

園 (公社)福岡県看護協会(☎092-631-1221)

人の動き

2月末日現在()は前月比

- 人口 10,677人(-18人)
- 出生 4人
- 男性 5,003人(-10人)
- 死亡 14人
- 女性 5,664人(-8人)
- 転入 19人
- 世帯数 4,876世帯(-2世帯)
- 転出 27人

相談

●心配ごと相談(そえだジョイ/10時～15時)
4月7日(火)、21日(火)

●補聴器相談(役場ロビー)
4月8日(火)(13時～)/10日(金)(15時～)

事件事故発生状況

2月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0(±0)	0(-1)
性犯罪	0(±0)	0(±0)
車上ねらい	0(±0)	0(±0)
空き巣・忍び込みなど	0(-3)	3(-1)

2月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	13(+1)	25(-8)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	5(+1)	8(±0)

●山に入る場合はご注意を
有害鳥獣駆除を実施します
●対象動物 シカ、イノシシ、アライグマ、アナグマなど

●駆除期間 4月11日(土)～10月31日(土)(予定)
※被害の状況などによっては、駆除期間を延長する場合があります。

園 役場有害鳥獣対策係(☎82-1237)



めんべい添田工場
植樹が行われました

町は、めんべい添田工場周辺に、(株)山口油屋福太郎の山口穀社長が寄贈した、ナンジャモンジャの木、200本を植樹しました。大きくなると樹高20メートルにもなるナンジャモンジャ。初夏に花が咲くのが楽しみです。

■編集後記
▶新たな旅立ちの季節ですね。就職したり、開業したりでこの春から県外へ出ていく人も少なくありません。そんな友人たちを見送りつつ、私は今年度も、イベント満載の魅力あふれる添田町を追いかけたいと思っています。(水上)

●添田町役場機構の変更

4月から役場組織を一部変更しました



役場機構の一部見直しを行い、4月からこれまでの特命プロジェクトを廃止し、新たに「防災管理課」と「情報広報課」を設置。また建設課を「道路整備課」と名称を変更しました。詳しくは広報そえだ5月号でお知らせします。

園 役場総務課(☎82-1232)

県営住宅入居者募集

▼募集住宅 県内に所在する県営住宅(対象団地などの詳細は募集案内書を確認ください)

▼募集案内書の配布と受付期間 6月1日(月)～6月9日(火)

▼募集案内書配布場所 役場住環境整備課、県住宅供給公社管理事務所田川出張所

▼募 集 案 内 書 配 布 場 所 役場住環境整備課、県住宅供給公社管理事務所田川出張所、県内の各市・区役所および町村役場ほか

園 福岡県住宅供給公社県営住宅管理部管理課(☎092-781-8029)

「憲法週間」無料法律相談

▼とき 5月11日(日) 13時～16時
▼ところ 飯塚法律相談センター



新副町長に小河善徳氏が就任

平成27年第1回添田町議会定例会で、添田町副町長の選任について同意され、小河善徳氏が4月1日付けで就任しました。小河氏は平成9年から県に採用された筑前町出身の42歳。任期は平成31年3月31日までの4年間です。

○添田町社会福祉協議会へ
ありがとうございました
(敬称略)
1(飯塚市)
▼定員 先着12人
▼予約 4月23日(金)9時から電話予約受付開始
園 飯塚法律相談センター(☎0948-28-7555)

▼香典返し ▼森洋和(一ノ宮) ▼宮崎清一(上中元寺) ▼船瀬かほる(下中元寺) ▼小川泰壽(町二) ▼中川忠征(町二) ▼花菱美智子(新城)
○特別養護老人ホームそえだへ
▼慰問 ▼高橋浩月(町四) ▼坂本泰子(峰地)
(平成27年3月14日現在)

たは今後行おうとする会員数5人以上の団体で、他からの助成を受けていない団体
▼対象活動 除草・清掃活動、水質・生物調査、普及啓発活動など
▼助成対象活動期間 6月～平成28年1月
▼助成内容 1団体あたり上限10万円
▼申込期限 4月30日(木)
園 北九州市上下水道局水質試験所(☎093-641-5948)

町バス時刻が変わります

4月1日から町バスの時刻が

一部変更となります。時刻表を確認の上利用してください。
▼時刻が変更になる路線1彦山線、津野線
▼フリー区間の追加1中元寺線(中元寺区域内全域)
園 役場まちづくり課施策推進係(☎82-5965)
路線バス利用促進
キャンペーンイラスト募集
秋に実施する「路線バス利用促進福岡県内一斉キャンペーン」で使用するイラストを募集します。優秀作品は後日表彰します。
▼募集内容 路線バスとバス利

愛犬に1年に1回大切な予防注射

愛犬の登録と、1年に1回の
予防注射を忘れずに

飼 い犬には、狂犬病予防法で「登録」と「予防注射」が義務づけられています。犬の登録は、生涯1登録で、複数頭飼う場合は、1頭ごとに登録が必要です。飼い主が変わったときや引っ越した場合、犬が死亡したときは、届出が必要となります。また、狂犬病の予防注射は、毎年1回受け、町から注射済票の交付を受けなければなりません。



飼 い犬が登録済みの場合は、通知書が届きます。

【畜犬登録と狂犬病予防注射】

●とき 4月23日(木)、24日(金) 9時30分～15時30分
※受けられない場合は動物病院で接種してください。

●ところ 町内地区公民館や集会所など25会場
※対象は生後91日以上の子犬です。各会場で時間が決まっていますので、詳しくは、役場保健福祉環境課環境保全係まで問い合わせください。

登録と注射	注射料金	登録手数料	済票手数料	合 計
初めて登録	2,600円	3,000円	550円	6,150円
登録済み	2,600円	0円	550円	3,150円

園 役場保健福祉環境課環境保全係(☎82-1232)



◇発行／添田町 ◇編集／情報広報課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 光電話 050-6621-4309 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.sodeda.fukuoka.jp

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています



語り継がれる伝統 ～魅力ある“まちづくり”の実現へ～ 自然と歴史、文化を 継承していくために

タレントの島田洋七さんによる講演会と郷土の伝統芸能である彦山踊りと野田獅子楽の発表会が開催されました。



町では、添田町歴史的風致維持向上計画を策定し、その歴史や文化を守り続け、それらを活用したまちづくりを行っています。その第一歩として3月7日にオークホールで「語り継がれる伝統～魅力ある“まちづくり”の実現へ～」と題し、彦山踊りと野田獅子楽の伝統芸能の発表と、タレントの島田洋七さんによる地域づくり講演会を開催しました。

ステージでは、彦山踊り保存会が、千年以上前から伝わる気品漂う優雅な彦山踊りを披露。野田獅子楽保存会は、荒々しくも艶やかな獅子舞と笛や鐘の音に合わせて子どもたちが稚児舞を演じました。

また、基調講演では、島田洋七さんが「失敗は経験、成功の元だ。くよくよするな、笑っていれば苦労はふっ飛ぶ」と佐賀のばあちゃんの話しをユーモアたっぷりに語り、会場の皆さんの笑いを誘っていました。

Photo：歴史まちづくり講演会